

2018 年度明治大学 国際化サポート海外留学奨励金報告書

所 属	経営学部 2年
研修名	短期海外研修（エンデラン大学）

報告書

私は今回の研修で英語力はもちろん、人として大きく成長できたと思います。私には下に兄弟が二人いるため留学をしたいけれど金銭面を考えてしまい、なかなか行動に移せずにいました。そんな時に留学アドバイザーの方が勧めてくれたのがこの留学でした。フィリピンなので費用もそこまで高くなく、奨励金も成績的に受給することができ、そして他のどのプログラムよりもスピーキング力に特化しているというのが魅力でした。奨学金のおかげで金銭面を気にすることなく、そして受給しているからこそ自分のフィリピンでの生活にけじめをつけて勉強することができました。

実際に行ってみて、フィリピンは想像以上にインフラ整備が整ってなく、貧困差も激しく衝撃を受けました。それなのに現地の人は皆いつも笑顔で楽しそうで、とても心を打たれました。そして自分の日本での生活を見直すいいきっかけを与えてくれたと思います。私は、ネガティブに物事を捉えることが多々ありました。それは、日々時間に追われ忙しく、自分のための時間を作ることができてなかったからだとフィリピンの人から学びました。現地の方はどんなに忙しくても自分の時間や趣味の時間を大切にします。そして、彼らは自分や母国を誇りに思っていました。それがたとえどんなに小さなことでも、自分が満足できるのであればいいのです。ここが日本人との大きな違いであると気付かされました。そしてその環境に 42 日間いたことで私も自分の誇れることを見つけることができ、自信を持てるようになりました。また、フィリピン人は、他者に対して常に尊敬の気持ちと感謝の気持ちを忘れないということに気づきました。その環境が、私の心にも変化を与えてくれ、いろいろな人に感謝をよりするようになり、そうすることによって自分の心も浄化できるようになりました。

学習面でも大きな変化がありました。最初は英語だけの環境になれていなかったため、先生の言っていることも一度で理解することは難しく、自分から話すことにも抵抗がありました。ですが日々の努力と先生の熱心な指導のおかげで英語力を上げることができました。先生方がとてもフレンドリーなので私も自分の英語に自信をもって会話することができました。また、そのような楽観的な文化のおかげで研修に行く前よりも自分に自信を持てるようになりました。英語は、外国人とコミュニケーションをとる唯一のツールだと思います。なので、この研修に参加して英語が話せるようになったことは私の大きな強みになると思います。私はこの研修のリーダーだったので最後に英語で 6 分間のスピーチをする機会がありました。カッコいい英文を話すことはできませんでしたが、自分の感謝の思いを自分なりに一生懸命話したところ、先生の何人かが涙を流してくれました。その時に、この研修をしっかりとやりきることができたと感じる事ができ、とても嬉しかったです。たとえ流暢に話せなくても外国人と心で通じあえるのだと改めて感じる事ができました。

写真貼付（1 枚）

